

新 旧 対 照 表

地域再生計画の名称：神楽でつなぐ庄内地域「移住・交流・元気創出」プロジェクト

新	旧
1 地域再生計画の名称 (略) 2 地域再生計画の作成主体の名称 (略) 3 地域再生計画の区域 (略) 4 地域再生計画の目標 4－1 地域の現状 (略) 4－2 地域の課題 (略) 4－3 目標 庄内地域は、市の中心部に位置するが市内では少子化の傾向が最も顕著な地域の1つであると同時に、高齢化傾向も顕著である。庄内地域には由布市を代表する伝統芸能である「庄内神楽」（平成21年度地域伝統芸能大賞 「地域振興賞」を受賞）があり、庄内地域内では12の神楽座と保育園から高校生まで、精力的に活動を行っており海	1 地域再生計画の名称 (略) 2 地域再生計画の作成主体の名称 (略) 3 地域再生計画の区域 (略) 4 地域再生計画の目標 4－1 地域の現状 (略) 4－2 地域の課題 (略) 4－3 目標 庄内地域は、市の中心部に位置するが市内では少子化の傾向が最も顕著な地域の1つであると同時に、高齢化傾向も顕著である。庄内地域には由布市を代表する伝統芸能である「庄内神楽」（平成21年度 地域伝統芸能大賞 「地域振興賞」を受賞）があり、庄内地域内では12の神楽座と保育園から高校生まで、精力的に活動を

外公演も行ってきたところである。

この江戸末期から伝わる「庄内神楽」を確実に後世に繋げるために、その魅力を、市内外及び国内外に幅広く発信して「神楽ファン」を増やすとともに、伝統芸能の継承・担い手を育成する。あわせて地域内人口流出の抑制や交流人口の拡大を図り移住者の増加を目指す。

【数値目標】

	平成29年 3月末	平成30年 3月末	平成31年 3月末
イベント参加者数	6,100人	6,400人	7,000人
移住・定住施策を活用した移住・定住者数	38人	41人	45人

5 地域再生を図るために行う事業

5－1 全体の概要

「庄内神楽」の魅力を市内及び県内外や国外へ発信することで外国人も含めた交流人口の増加をめざすとともに市内の定期公演や神楽祭り開催時に由布市のコミュニティバスを臨時運行し、入場者数の増加

行っており海外公演も行ってきたところである。

この江戸末期から伝わる「庄内神楽」を確実に後世に繋げるために、その魅力を、市内外及び国内外に幅広く発信して「神楽ファン」を増やすとともに、伝統芸能の継承・担い手を育成する。あわせて地域内人口流出の抑制や交流人口の拡大を図り移住者の増加を目指す。

【数値目標】

	平成29年 3月末	平成30年 3月末	平成31年 3月末
イベント参加者数	6,100人	6,400人	7,000人
移住・定住施策を活用した移住・定住者数	38人	41人	45人
空き家情報利用申請者数	170人	210人	280人

5 地域再生を図るために行う事業

5－1 全体の概要

「庄内神楽」の魅力を市内及び県内外や国外へ発信することで外国人も含めた交流人口の増加をめざすとともに市内の定期公演や神楽祭り開催時に由布市のコミュニティバスを臨時運行し、入場者数

をめざす。また、市内の小中学生を対象に神楽体験や神楽教室を開催し神楽の魅力を少年期から伝え、将来の担い手の育成に繋がる基盤づくりを行いながら、将来は、神楽の海外公演や神楽の魅力を世界に発信できる人材の育成に繋げる。更には、由布市の移住交流センター「星とぴあ」を中心に、移住交流イベント等を行い、庄内地域の人口減少対策に取り組む。

5－2 法第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金（内閣府）【A3007】

①事業主体

由布市

②事業の名称：神楽でつなぐ庄内地域「移住・交流・元気創出」プロジェクト

③事業の内容

「庄内神楽」の魅力を市内及び県内外や国外へ発信することで外国人も含めた交流人口の増加をめざすとともに市内の定期公演や神楽祭り開催時に由布市のコミュニティバスを臨時運行し、入場者数の増加をめざす。また、市内の小中学生を対象に神楽体験や神楽教室を開催

の増加をめざす。また、市内の小中学生を対象に神楽体験や神楽教室を開催し神楽の魅力を少年期から伝え、将来の担い手の育成に繋がる基盤づくりを行いながら、将来は、神楽の海外公演や神楽の魅力を世界に発信できる人材の育成に繋げる。更には、定住・移住対策として、若者の住宅用地の調査や住宅のリフォーム補助等を行うとともに、由布市の移住交流センター「星とぴあ」を中心に、移住交流イベント等を行い、庄内地域の人口減少対策に取り組む。

5－2 法第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金（内閣府）【A3007】

①事業主体

由布市

②事業の名称：神楽でつなぐ庄内地域「移住・交流・元気創出」プロジェクト

③事業の内容

「庄内神楽」の魅力を市内及び県内外や国外へ発信することで外国人も含めた交流人口の増加をめざすとともに市内の定期公演や神楽祭り開催時に由布市のコミュニティバスを臨時運行し、入場者数の増加をめざす。また、市内の小中学生を対象に神楽体験や神楽教

し神楽の魅力を少年期から伝え、将来の担い手の育成に繋がる基盤づくりを行いながら、将来は、神楽の海外公演や神楽の魅力を世界に発信できる人材の育成に繋げる。更には、由布市の移住交流センター「星とぴあ」を中心に、移住交流イベント等を行い、庄内地域の人口減少対策に取り組む。

(1) 庄内神楽魅力発信事業（交流人口増加対策事業）

庄内地域の魅力の1つでもある「庄内神楽」を中心とした各種広報活動を通じ・地域の魅力情報等を積極的に発信。併せて海外交流を促進する

(2) 移住・定住対策事業

移住交流センター「星とぴあ」を中心に、【神楽事業】と併せて情報発信・移住交流イベント等を行い移住・交流人口の増加を図る。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

(略)

【官民協働】

(略)

【政策間連携】

室を開催し神楽の魅力を少年期から伝え、将来の担い手の育成に繋がる基盤づくりを行いながら、将来は、神楽の海外公演や神楽の魅力を世界に発信できる人材の育成に繋げる。更には、定住・移住対策として、若者の住宅用地の調査や住宅のリフォーム補助等を行うとともに、由布市の移住交流センター「星とぴあ」を中心に、移住交流イベント等を行い、庄内地域の人口減少対策に取り組む。

(1) 庄内神楽魅力発信事業（交流人口増加対策事業）

庄内地域の魅力の1つでもある「庄内神楽」を中心とした各種広報活動を通じ・地域の魅力情報等を積極的に発信。併せて海外交流を促進する

(2) 移住・定住対策事業

移住交流センター「星とぴあ」を中心に、【神楽事業】と併せて情報発信・移住交流イベント等を行うとともに、地域内にある空き家・遊休地等を利用した定住促進住宅用地整備による定住人口の拡大を図る

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

(略)

【官民協働】

(略)

【政策間連携】

(略) 【地域間連携】 特になし 【その他の先導性】 (略)						(略) 【地域間連携】 特になし 【その他の先導性】 (略)					
⑤ 重要業績評価指標（K P I）及び目標年月						⑤ 重要業績評価指標（K P I）及び目標年月					
	関連事業	平成27年 基準年	平成28年	平成29年 中間目標	平成30年 最終目標		関連事業	平成27年 基準年	平成28年	平成29年 中間目標	平成30年 最終目標
目標1						目標1					
イベント 参加者数 増加によ る交流人 口の増加	庄内神楽魅力 発信事業	6,000人	6,100人	6,400人	7,000人	イベント参 加者数増加 による交流 人口の増加	庄内神楽魅 力発信事業	6,000人	6,100人	6,400人	7,000人
目標2						目標2					
移住・定 住施策を 活用した 移住・定 住者数	移住・定住対 策事業	35人	38人	41人	45人	移住・定住 施策を活用 した移住・ 定住者数	移住・定住 対策事業	35人	38人	41人	45人
						目標3					
						空き家情報 利用申請件	移住・定住 対策事業	160人	170人	210人	280人

	数					
⑥ 評価の方法、時期及び体制 (略)	⑥ 評価の方法、時期及び体制 (略)					
⑦ 交付対象事業に要する経費 ①法第 5 条第 4 項第 1 号イに関する事業【A3007】 総事業費 50,667千円	⑦ 交付対象事業に要する経費 ①法第 5 条第 4 項第 1 号イに関する事業【A3007】 総事業費 91,963千円					
⑧ 事業実施期間 (略)	⑧ 事業実施期間 (略)					
⑨ その他必要な事項 特になし	⑨ その他必要な事項 特になし					
5－3 その他の事業	5－3 その他の事業					
5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置 該当なし	5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置 該当なし					
5-3-2 支援措置によらない独自の取組 該当なし	5-3-2 支援措置によらない独自の取組 該当なし					
6 計画期間 (略)	6 計画期間 (略)					

7 目標の達成状況に係る評価に関する事業

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法
(略)

目標 1
イベント参加者人数については、神楽イベント主催者（庄内神楽座長会）等の報告により把握する。

目標 2
移住者数については、市が 3 月 31 日末時点で移住対策策補助金を活用した実績による把握する。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

	関連事業	平成27年 基準年	平成28年	平成29年 中間目標	平成30年 最終目標
目標1					
イベント参加者数増加による交流人口の増加	庄内神楽魅力発信事業	6,000人	6,100人	6,400人	7,000人

7 目標の達成状況に係る評価に関する事業

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法
(略)

目標 1
イベント参加者人数については、神楽イベント主催者（庄内神楽座長会）等の報告により把握する。

目標 2
移住者数については、市が 3 月 31 日末時点で移住対策策補助金を活用した実績による把握する。

目標 3
空き家バンク情報利用申請件数については、移住交流センター「星とぴあ」に登録された移住希望者件数により把握する。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

	関連事業	平成27年 基準年	平成28年	平成29年 中間目標	平成30年 最終目標
目標1					
イベント参加者数増加による交流人口の増加	庄内神楽魅力発信事業	6,000人	6,100人	6,400人	7,000人

							目標2					
目標2							移住・定住 施策を活用 した移住・ 定住者数	移住・定住 対策事業	35人	38人	41人	45人
移住・定 住施策を 活用した 移住・定 住者数	移住・定住対 策事業	35人	38人	41人	45人		目標3					
							空き家情報 利用申請件 数	移住・定住 対策事業	160人	170人	210人	280人
7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法 (略)							7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法 (略)					